

翻訳にあたってのヒント

その 42

「かしこまりました」を英語で何と言うか？

今回は、依頼や命令などをつつしんで受ける場合に最も丁寧な言い方であるこの言い回しを英語でどういったらいいかについて整理してみることにする。

これを英語で表現する場合には状況と立場によって丁寧さの度合いがあり、それなりの注意が必要である。

一番丁寧な言い方は、"Certainly, Sir."（相手が男性の場合）または"Certainly, Madam."（相手が女性の場合）である。ただし、この"Certainly." は、目上の人、上司、顧客に何かを頼まれたときに使ってこそ適切な表現となるので、自分と同等の相手や目下の者に対して使うのは不適切であることに注意されたい。

以下はその敬度の高低（向かって左から右に行くほど丁寧さの度合いが低くなる）。

Certainly. → No problem. → Sure. → All right. → OK.

文例：

顧客： Could I speak to Mr. Suzuki, please?

応対者： I'm afraid he is out of the office now.

顧客： I see. Could you give him a message for me?

応対者： Certainly.

この他の表現としては、"Very good, sir (or madam).", "Yes, sir (or madam).", "With pleasure.", "Surely, sir (or madam).", "Fine," 等もあるが、"Certainly." が一番無難な表現と思われる。

以上、これにて早々と 42 回目終わり。